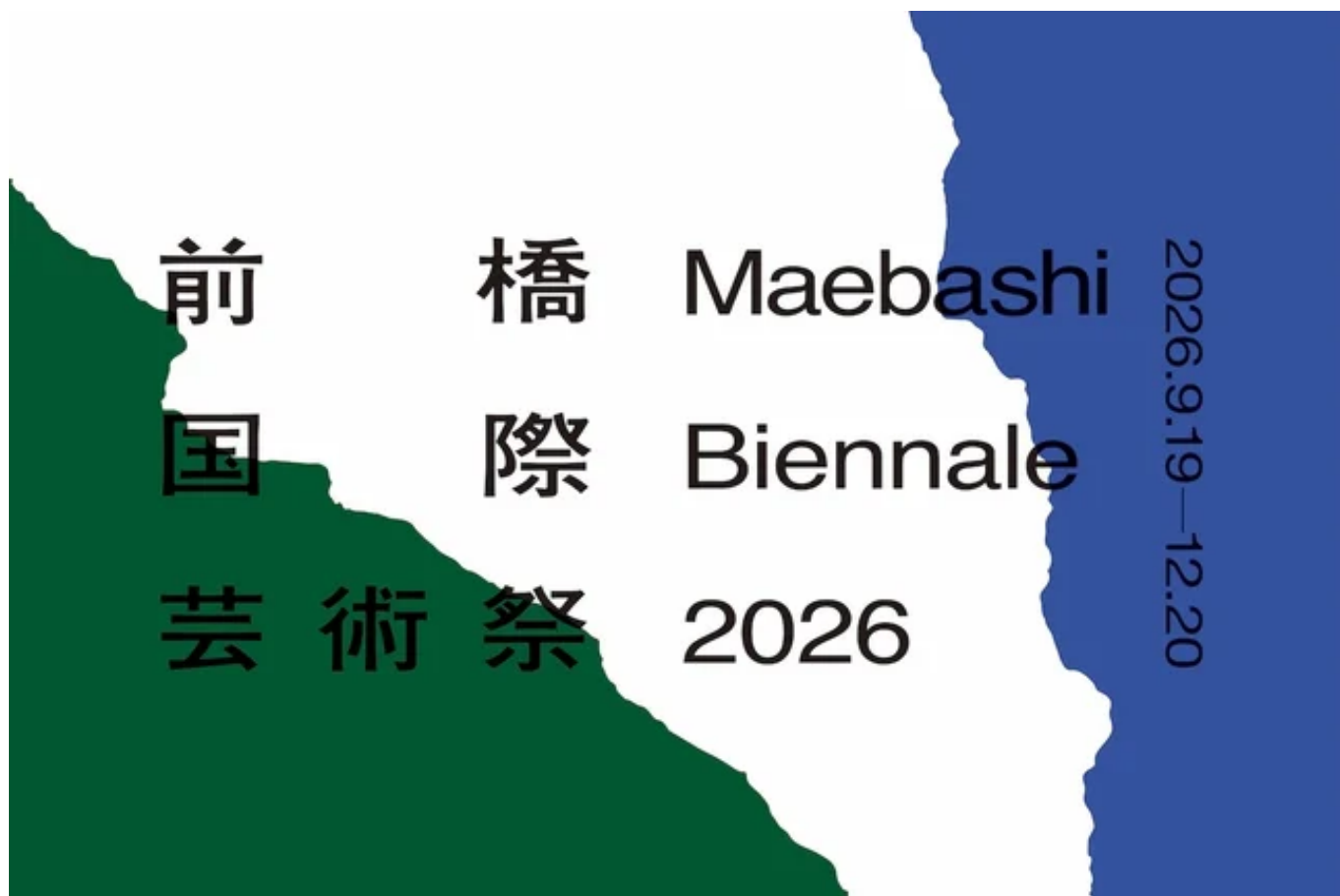


「前橋国際芸術祭2026」蜷川実花が主宰するクリエイティブチーム〈EiM〉、渋谷慶一郎、山田紗子、サム・フォールズなど参加アーティスト、プロジェクト第一弾23組を発表

アート・建築・詩・音楽が交差する“都市の芸術祭”の輪郭が明らかに。2026年9月19日（土）から12月20日（日）までアーツ前橋、まえばしギャラリー、白井屋ホテル、前橋市中心市街地エリアにて開催。

前橋国際芸術祭実行委員会(実行委員長：田中仁)は、2026年9月19日（土）から12月20日（日）までの80日間、群馬県前橋市の中心市街地を舞台に開催する「前橋国際芸術祭2026」について、参加アーティスト第一弾ラインナップおよび注目のプロジェクト第一弾を発表いたします。



本芸術祭は、2016年に前橋市が策定したまちづくりビジョン「めぶく。」を起点に、民間主導で進められてきた都市再生のプロセスと呼応しながら、アートを通じて前橋の現在地と未来像を描き出す、2年に一度の国際芸術祭です。

「前橋国際芸術祭2026」では、現代アートにとどまらず、詩・音楽・映画・建築・リサーチなど多様な表現領域からアーティストを招聘。ミュージアムという展示空間に加え、商店街や路地、空きビル、公共空間など、前橋の日常風景そのものを舞台に、ウォークアブルなアート体験を創出します。

参加アーティスト／プロジェクト（第一弾発表）

※A to Z／敬称略

アレクサ・クミコ・ハタナカ、和田彩花、ナイトウカツ、渋谷慶一郎、尾花賢一＋石倉敏明、レア・エンベリ、蜷川実花、マイク・エーブルソン、石川直樹、吉開菜央、サム・フォールズ、S.Proski、山田紗子、最果タヒ＋佐々木俊、海老原イエニ、山縣良和

白川昌生（駅家の木馬祭り）、田所淳（グーチョキパークラブ）、八木隆行（ya-gins）、前橋映像祭、STREET FURNITURE EXHIBITION、Bentena SHOP＋SNARK Inc.、白井屋ホテル アートイルミネーション

＊残る20企画（予定）の発表は5月下旬を予定しています。

注目プロジェクト（第一弾発表）

渋谷慶一郎が街に生み出す、一期一会の音響体験



サウンドインスタレーション《Abstract Music》／グラフィックデザイン：八木弊二郎

渋谷慶一郎のサウンドインスタレーション《Abstract Music》を、再開発エリアのシャッター通りに社会実装するプロジェクトが進行中。作家自身の膨大なサウンドデータやAIによるリーディングをオリジナルプログラムがリアルタイムに組み合わせ、まるで風や囁き声のようになって路地を駆け抜けていきます。周囲の環境に融合し無限に変化・拡張するサウンドが、超自然的な音響空間と都市体験の異化を実現します。

再開発エリアに蜷川実花が描く、生と死の光彩



蜷川実花／EiM《Breathing of Lives》2023／HOWZE
／Photo by Shinya Kigure

アーツ前橋開館10周年記念展「ニューホライズン 歴史から未来へ」（2023）で、廃業したキャバレーと白井屋ホテルの吹き抜けという対照的な空間に、前橋という都市固有の衰退と再生を象徴するように、草花・蝶・魚など小さな生命のサイクルを光彩色で表した蜷川実花。「前橋国際芸術祭2026」で

は、科学者・アーティスティックディレクター・宮田裕章、プロダクションデザイナー・Enzoらと結成したクリエイティブチーム〈EiM〉として、新作を発表します。

視覚障害を持つアーティストS. Proskiが表現する前橋とは。ヘラルボニーとの協働



S. Proski 《Trap Door》 2022／Photo by Amanda Guerra



障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー・ヘラルボニーとの共同キュレーションにより、「HERALBONY Art Prize 2024」審査員特別賞を受賞した視覚障害のあるアーティストS. Proskiがボストンから参加。前橋での長期にわたるアーティスト・イン・レジデンスを通して制作した作品を芸術祭で発表します。作家が滞在を通じて捉える前橋が、どのように作品へと結実するのか見どころです。

気鋭の建築家・山田紗子の新作が前橋に



オリオン通りで進行中の建築プロジェクト（イメージ）



《outline bar（ART WEEK TOKYO 2023 初出）》MEE
T YOUR ART FESTIVAL2024「New Era」ART EXHIBIT
ION 展示風景

住む人・集う人が自ら場をつくる能動性を引き出す独創的なプロジェクトを次々と手がける建築家・山田紗子が、アーケード商店街の一角で再開発の起点となる建築を設計中。建物としての竣工は2028年を予定しています。

「前橋国際芸術祭2026」では、建物の竣工に向け、建築家の思想と空間へのアプローチを広く伝えるため、2023年に制作されたスチールバーによるインスタレーション《outline bar》をアーツ前橋で再制作し、アート・建築・身体の社交場を立ち上げます。

地域との協働プログラム（第一弾発表）

「前橋国際芸術祭2026」では、地域コミュニティや教育機関、企業と連携しながら、制作・リサーチ・発表をまちなかで行う協働型のプログラムを多数展開します。

尾花賢一＋石倉敏明 | 人類学者と探る想像力の母胎としての赤城山



尾花賢一＋石倉敏明《赤城山リミナリティ》2019／アーツ前橋／Photo by Shinya Kigure

アーツ前橋で2019年に開催された「表現の生態系」展で、芸術人類学者の石倉敏明とアーティストの尾花賢一が発表した《赤城山リミナリティ》は、山岳信仰の聖地として数多くの伝説をもつ赤城山を半年間にわたってリサーチし、制作されました。「前橋国際芸術祭2026」ではその続編として、さらに赤城山とその周辺の民俗についてリサーチをおこない、現在は見えづらくなっている山とその裾野に暮らす人々のつながりを、アートを通して可視化していきます。

最果タヒ＋佐々木俊 | 「詩のまち」が語り出す、言葉のパブリックアート



最果タヒ《詩の加速》2020／グラフィックデザイン：佐々木俊／作品撮影：丸尾隆

前橋出身の詩人・荻原朔太郎。その精神を受け継ぐ詩人の最果タヒは、詩集『恋と誤解された夕焼け』で第32回萩原朔太郎賞を受賞し、翌2025年に前橋文学館で開催された受賞記念展も大きな注目を集めました。

「前橋国際芸術祭2026」では、前橋と最果タヒの関係をさらに深化させ、グラフィックデザイナー・佐々木俊とともに、オリオン通りを舞台に「水と緑と詩のまち」を象徴する言葉のパブリックアートを制作・発表します。

吉開菜央 | 記録と空想のあいから吹き下ろす風の映像詩



吉開菜央《Shari》2021／デジタル／63分

映画作家・ダンサーの吉開菜央は、前橋の風土を象徴する〈からっ風〉をテーマに新たな映像作品を制作します。死者の魂が帰る場所とされる赤城山・地藏岳を想像の起点に、自身の身体感覚や五感を手がかりにリサーチを重ねます。あの世とこの世、想像と現実、山と湖、身体と心——そうした境界を流体のように行き交いながら、赤城山の精神世界と前橋の自然風景を重ね合わせ、想像的な映像詩として描き出します。

ナイトウカツ | 地域・言語・時空を越境する、写真を通した対話。



ナイトウカツ 《Behind Their Gaze, There I am》2025／前橋市千代田町にて撮影

18歳で単身渡米し、40年以上ニューヨークを拠点に活動してきた写真家のナイトウカツさん。言葉が十分に通じないなかで〈他者と感情を交わす〉ための手段としてカメラを手にした経験は、その後の制作の原点となっています。本芸術祭では、前橋で日本語を学ぶ外国人留学生の若者たちと交流を重ねながら撮影したポートレート作品を発表します。何気ない会話の積み重ねから浮かび上がるそれぞれの物語や生の表情を通して、〈現在の留学生〉と〈かつての自身〉の眼差しを交差させ、地域・言語・時空を越境する写真を通じた対話空間の創造を試みます。

田所淳 × BUFFALO | グーチョキパークラブ



田所淳《Consonance and Dissonance》 2021/ U-108 SPACE 国立台湾美術館

オーストリア・リンツ市の〈Ars Electronica〉など国際舞台で活躍するクリエイティブコーダー・田所淳が呼び掛け人となり、オーディオとビジュアルが融合するパフォーマンスやミュージシャンを国内外から招聘するライブプログラムを、BUFFALOのサポートにより開催。会場は長らく空きビルだった銀座通りの通称〈グーチョキパービル〉。

電子音楽と没入型アートを再開発エリアにインストールし、かつてこの街区に存在したクラブカルチャーの再生を試みるプロジェクトです。

その他の地域協働プログラム（タイトル一覧）



Photo by Shinya Kigure

白川昌生 | 駅家の木馬祭り

ya-gins | 前橋の日常×アートを面白くする地元作家を紹介

海老原イエニ | 群馬朝鮮初中級学校でのアーティスト・イン・スクール

レア・エンベリ | 刺繍がつなぐセルビアと日本のシスターフッド

裏ノ間 | ネオ・ネオ・ダダダ MAEBASHI

STREET FURNITURE EXHIBITION 2026

Bentena SHOP+SNARK Inc. | SITE PORTAL

白井屋ホテル アートイルミネーション

ふるさと納税について

前橋市のふるさと納税に申し込むことで前橋国際芸術祭を応援することができます。

前橋国際芸術祭は、アートの力で地域の魅力を引き出し、人とまちの未来を切り拓く文化事業です。本芸術祭は、前橋市のふるさと納税制度を通じて、企業・個人の皆さまに応援いただくことができます。皆さまからのご支援は、芸術祭の開催のみならず、次世代を担う創造的な人材の育成や、地域文化を未来へとつなぐ力となります。前橋のこれからをともに描く仲間として、ぜひご参画ください。

詳細は公式サイト：<https://maebashi-biennale.com/>

前橋国際芸術祭では企業協賛によるサポートプログラムもご提供しております。ご関心のある企業の方は前橋国際芸術祭実行委員会 事務局までお問い合わせください。

前橋国際芸術祭実行委員会事務局（前橋まちなかエージェンシー）

開催概要

タイトル

第一回 前橋国際芸術祭 2026

開催テーマ

「めぶく。Where good things grow.」

会期

2026年9月19日（土） - 12月20日（日）〔80日間〕

参加アーティスト・プロジェクト（第一弾発表）

アレクサ・クミコ・ハタナカ、和田彩花、ナイトウカツ、渋谷慶一郎、尾花賢一＋石倉敏明、レア・エンベリ、蜷川実花、マイク・エーブルソン、石川直樹、吉開菜央、サム・フォールズ、S.Proski、山田紗子、最果タヒ＋佐々木俊、海老原イエニ、山縣良和

白川昌生（駅家の木馬祭り）、田所淳（グーチョキパークラブ）、八木隆行（ya-gins）、前橋映像祭、STREET FURNITURE EXHIBITION、Bentena SHOP＋SNARK Inc.、白井屋ホテル アートイルミネーション

＊残る20企画（予定）の発表は5月下旬を予定しています。

主な会場

アーツ前橋、まえばしギャラリー、白井屋ホテル、前橋市中心市街地エリア

運営組織

【主催】

前橋国際芸術祭実行委員会

【共催】

前橋市

【顧問】

山本 一太（群馬県知事）

【実行委員長／総合プロデューサー】

田中 仁（田中仁財団代表理事／ジンスホールディングス代表取締役 CEO）

【プログラムディレクター】

宮本 武典（東京藝術大学准教授／アーツ前橋チーフキュレーター）

【アドバイザー】

南條 史生（アーツ前橋特別館長／前橋市文化芸術戦略顧問）

萩原 朔美（前橋文学館特別館長／前橋市文化活動戦略顧問）

松田 文登（株式会社ヘラルボニー代表取締役 Co-CEO）

牧 寛之（バッファロー代表取締役社長）

【事務局長】

橋本 薫（MMA 代表理事／まちの開発舎代表取締役）

【デザインディレクター】

木住野 彰悟（6D 代表）

【コミュニケーションディレクター】

笠間 健太郎（アーツ・アンド・ブランズ代表取締役）

【リサーチャー】

石倉 敏明（人類学者／秋田公立美術大学准教授）

臼井 敬太郎（建築史家／前橋工科大学准教授）

浜田 岳文（美食家）

【アンバサダー】

和田 彩花（アイドル）

【企画チーム】

田所 淳（クリエイティブコーダー）

高橋 由佳（アーツ前橋学芸員）

阿部 由布子（前橋工科大学助教）

【運営・制作チーム】

前橋まちなかエージェンシー（舘孝幸、根本千沙季、寺田玲乃、茂木はるな）

藤原羽田合同会社（藤原さゆり、羽田美恵子）

構成施設・連携団体・連携事業

前橋市（アーツ前橋）、群馬県（群馬パーセントフォーアート）、前橋工科大学、JR 東日本高崎支社、白井屋ホテル、ヘラルボニー、エイベックス・クリエイター・エージェンシー、小山登美夫ギャラリー、Taka Ishii Gallery、rin art association、アート・オフィス・シオバラ、MAKI Gallery、KOTARO NUKAGA、まちの開発舎、前橋シネマハウス、マチスタント、フリッツ・アートセンター、ya-gins、B entena SHOP+SNARK Inc.、re／noma、双子蒸留所、広瀬川文化交流（順不同）

公式サイト：<https://maebashi-biennale.com/>

前橋国際芸術祭広報事務局

エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社

E-Mail：maebashi_mebuku_pr@av.avex.co.jp

前橋国際芸術祭実行委員会事務局（前橋まちなかエージェンシー）

所在地：〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-2 comm

担当：寺田玲乃、根本千沙季

E-Mail：info@machinaka.agency

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000194.000065348.html>

エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/65348